

2年3組 国語科学習指導案

日 時 平成28年10月

場 所

授業者

- 1 単元名 関わりの中で 第2学年「C 読むこと」
学習材 「モアイは語る―地球の未来」安田 喜憲

2 単元のねらいと概要

本単元では、文章構成や根拠の示し方などに注意して筆者の主張を読み取ることと、生徒自身の体験や知識を重ねて地球の未来について考えさせることを目標にしている。本教材は、イースター島での悲劇を事実として提示する巧みな文章構成によって、「森林資源を大切にすべき」という主張を読者に訴えた論説文である。

この単元で、「筆者がどんな意図をもって事実・事例を取り上げ、それについて何を考え、どのように自身の主張に結び付けたかを読み取る力」をつけさせたい。つまり、「文章構成や、序論の問いが本論でどのように展開して結論につながるのかという論の展開の仕方に着目して、筆者の主張を捉えることができる力」（読むこと イ）を高めたいと考えている。

終末には、「根拠を明確にして意見を書こう」で、筆者が地球に住む読者に投げかけた環境問題について、自分の体験や知識をもとに意見文「地球の未来」を書く言語活動を行う。授業を通して学んだ根拠の示し方や、文章構成の工夫を取り入れて説得力のある文章が書けるように指導していきたい。

3 単元の目標

- (1) 事実の提示と、事実から導かれた意見が重層的に繰り返され、筆者の主張に結び付く論説文の楽しさを味わう。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 文章構成や、序論の問いが本論でどのように展開して結論につながるのかという論の展開のしかたに着目して、筆者の主張を捉えることができる。(読むこと イ 文章の解釈)
- (3) 筆者の論の展開の工夫や視点について、自分の考えをもつことができる。(読むこと ウ 自分の考えの形成)
- (4) 思考を表す抽象的な語句や、環境問題に関連する語句について理解し、使うことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(イ))

4 言語活動について（学力・学習状況調査分析）

説得力をもたらしている論の展開のしかたや表現の工夫をとらえる。

本教材では、筆者の読者を納得させるための事実や事例を使っての根拠の示し方や巧みな文章の構成を読み取らせたい。終末に「地球の未来についての意見文を書く」で、読者にわかりやすい文章を書くために、主張に説得力をもたせるための事実や根拠の示し方や文章の構成を読み取らせたい。

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
① 事実と筆者の考え、また、具体的事例と筆者の主張の関係を整理して内容を捉え、要点をまとめようとしている。	① 序論に示された問いに答えながら、本論が展開している点をつかみ、本論の要点を的確に捉えている。 (イ 文章の解釈) ② 結論に着目して、筆者の主張をその根拠とともに捉えている。 (ウ 自分の考えの形成)	① 自分の考えを发表或し、考えをまとめたりする際に、抽象的な語句や環境問題に関する語彙を積極的に使っている。(1) イ (イ)

6 指導と評価の計画 (全6時間)

時	主たる学習活動	評価規準	評価方法
1	<u>文章の構成を考える。</u> ○第1次感想を交流する。 ○「モアイ」と「地球の未来」のつながりを考える。 ○各段落のつながりを考えながら、全体を三つの意味段落(序論・本論・結論)に分け、筆者の問題提示を読みとることができる。	国語への関心・意欲・ 態度① 読む能力① 言語についての知識・ 理解・技能	発言内容 授業の様子を観察 学習ノート
2	<u>序論の構成を考える。</u> ○問題提起の部分を確認し、記述の特徴を見つける。 ○筆者の読者を引きつける叙述の工夫を手がかりに、事実と考えを分けて読み取るることができる。	国語への関心・意欲・ 態度① 読む能力① 言語についての知識・ 理解・技能	発言内容 授業の様子を観察 学習ノート
3	<u>本論の構成を考える。</u> ○序論の問題提示に対する答えと説明を本論から読み取り、論理の展開の仕方や根拠の示し方を理解することができる。 ○序論の問いかけから本論を4つのまとまりに分け、小見出しをつける。	国語への関心・意欲・ 態度① 読む能力① 言語についての知識・ 理解・技能	発言内容 授業の様子を観察 学習ノート
4 本 時	<u>結論の構成を考える。</u> ○イースター島の出来事と地球の現状の共通点について、根拠を明確にして話し合う。 ○イースター島での事実と地球の未来の環境問題を結び付け、筆者の主張を読み取り、要約することができる。 ○本論から結論へのつなぎ方、主張に説得力をもたせるための文章構成の工夫について考える。	国語への関心・意欲・ 態度① 読む能力② 言語についての知識・ 理解・技能	発言内容 授業の様子を観察 学習ノート
5	<u>筆者の主張に説得力がある理由を考える。</u> ○筆者の論の展開のしかたについての工夫点と効果を考える。 ○文章のもつ説得力について、説明や表現のしかた、図や写真の観点で、工夫点と効果について話し合う。	国語への関心・意欲・ 態度① 読む能力①② 言語についての知識・ 理解・技能	発言内容 授業の様子を観察 学習ノート
6	<u>筆者の主張や自分の体験や知識をもとに、「地球の未来についての意見文を書く。</u> ○筆者の主張に対し、自分は「地球の未来」に必要なことは何か考え、まとめる。 ○小グループで交流を通して、「地球の未来」について、自分の体験や知識をもとに意見文を書く。	国語への関心・意欲・ 態度① 書く能力① 言語についての知識・ 理解・技能	発言内容 授業の様子を観察 学習ノート

7 単元構想表

単元（教材）名 「モアイは語る―地球の未来」 全6時間 重点指導事項 ウ

言語活動例	イ		評論の文章を読み、内容や表現のしかたについて自分の考えを述べる。		
指導事項	読む。	重点化	学 習 活 動	評価規準	時
ア	論説文における語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して	○	抽象的な概念を表す語句などに注意して読む。		1 ～ 3
イ		○	文章全体と部分との関係や例示、描写の効果を考え、内容の理解に役立てている。	問題提示に対する答えと、根拠となる事実を正しく読み取っている。	1 ～ 3
ウ		◎	論説文の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。	イースター島の悲劇と地球の現状を比較している文章構成の工夫をみつけ、地球の未来についての筆者の主張を読み取っている。	1 ～ 5
エ			論説文に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。		4 ～ 6
オ			多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。		5 ・ 6
関連する 伝統的な 言語文化 と国語の 特質に関 する事項		(1) イ (イ)	抽象的な概念を表す語句を理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。	抽象的な概念を表す語句を理解し、自分の考えを述べる際に、より適切な語句を選んでいる。	2 ～ 5
国語への関心・意欲・態度に関する評価			事実の提示と、事実から導かれた意見が重層的に繰り返され、筆者の主張に結び付く論説文の楽しさを味わおうとしている。	1 ～ 5	

8 本時のねらい

イースター島での事実と地球環境の現状を比較する文章構成の工夫を読み取ることを通して、「地球の未来」に対する筆者の主張をまとめることができる。

<人権・同和教育の観点>

根拠を明らかにし、筆者の考えを正確に理解することができる。(認識力)

9 本時の展開 (4/6)

授業前 論の展開に着目して筆者の主張を捉える力について	
<p>◎つかむ これまでの評価の分析から、単元でつけたい力に対する評価を明確にする。 第1回定期テスト(筆者の主張を70字以内で書く問題) 問題条件を満たして解答: 11人 条件に不備がある: 17人 無回答: 8人→個別指導が必要</p>	
	学 習 活 動
導	<p>① イースター島での出来事を、4つの疑問と答えを使って確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ、筆者はイースター島の出来事を説明してきたかを考えさせることで、筆者の主張を読み取るができるという見通しを持たせる。 イースター島の出来事と地球の未来は無関係ではない。 <p>② 本時の課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 イースター島での事実と現在の地球環境問題との関係を読み取り、筆者の主張をまとめよう。</p> </div>
入	
展	<p>③ 記述の工夫を手がかりに、内容について一人読みをし、それを元に学習班で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「⑯イースター島の運命は私たちにも無縁ではない。」の文末表現から事実となり、読者に無縁でない理由を考えさせる工夫をしている。 <p>④ イースター島と地球環境の共通点を、キーセンテンスで明確にし、それに対する筆者の考えを交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> イースター島と地球の共通点から主張を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ⑰森林は文明を守る生命線。(事実) ⑱現在の異常な人口爆発。(事実) ⑲食糧不足や資源不足の危険性(事実) ⑳有限の資源を効率よく長期にわたって利用する方策を考えなければならない。(主張) <p>⑤ 筆者の主張を、キーワードを使って要約する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○構造図をもとに、キーワード(以下下線に示す)を入れてまとめ文を書くよう助言する。
開	
終	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>イースター島の文明が崩壊した原因は、<u>人口増加</u>による<u>森の消滅</u>であり、それは、今の地球にもあてはまる問題である。私たちは、<u>異常な人口爆発</u>の中で生きている。イースター島のように、<u>食料や資源が不足</u>しても、どこからも地球も、資源を運ぶことができない。 <u>したがって</u>、今ある<u>有限の資源</u>をできるだけ<u>効率よく</u>、長期にわたって利用する方策を考えねばならない。</p> </div>
末	
	<p>⑥ 筆者の主張に説得力がある理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や根拠を示している。 ・文章全体が大きく主張と根拠の関係になっている。 <p>⑦ 家庭学習について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある有限の資源とその利用の方策を考える。
	<p>指導上の留意点 (○指導 ◎評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真や掲示、キーワードを使って今までの学習を振り返り、本時の学習への意欲化を図る。 ◎つかむ 序論の問いに対する答えが本論で述べられていることを確認する。 (実態の見届け) ○イースター島の歴史と地球の未来との関わりに着目させる。 ○一人・グループ読みにおいて、現代の地球での現象とイースター島での出来事を対応して読み取るよう助言する。 (学習状況の見届け) ○イースター島の歴史と現代の地球の共通点を話し合い、生徒の発言を構造的にまとめる。 ○事実を根拠にすることで、文章に説得力をもたせる筆者の論理的な文章の展開をとらえさせる。 ◎伸ばす 筆者の主張を、筋道を立ててまとめ文として書けるようにキーワードや文型を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準 読む能力① 地球の問題点とイースター島での事実を比較して、筆者の主張を読み取っている 評価方法 交流時の発言内容 授業の様子を観察 学習ノートの記述 Aと判断するキーワード等 下線に言葉を使い、前段に共通点、後段に未来に対しての筆者の主張の2段落構成で書いている。 努力を要する生徒への指導 キーワードを入れた文章を話させてから書かせる。 家庭学習につなげるために 自分の考える有限の資源とその利用の方策を考える。</p> </div>
<p>家庭学習での評価 論の展開に着目して筆者の主張を捉える力について</p> <p>◎確かめる 「今ある有限の資源をできるだけ効率よく、長期にわたって利用する方策を考えなければならない。」という筆者の主張を読み、家庭学習で自分の考える「有限な資源」とは何かとその方策について考えてくる。次時の授業の導入における◎つかむ評価とする。</p>	

